

分野を横断して支援できる社会福祉士となるために

～具体的事例から考える保健福祉的支援のあり方の原則と課題～

講師：瀧澤 利行 氏 (茨城大学教育学部教授)

『重層的支援』を耳にするようになった昨今。

私たち社会福祉士には「分野を横断して支援する力」が求められています。

私たちの支援する姿勢が、今後の福祉の支援体制作り大きく影響すると考えることができます。

この研修では、具体的事例を通し、現在どのようなことが起きているのか、私たちが取り組むべき「課題」は何かを確認し、保健福祉的支援の「原則」に立ち返りながら、柔軟に支援が出来る力を身に着けることの必要性を考えていきます。

【講師略歴】

1992年 東京大学大学院教育学研究科博士課程修了（教育学博士）

1998年 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）

現在 茨城大学教育学部教授、副学部長、茨城大学評議員

主な公職 茨城県高齢者プラン21 策定委員会委員長

茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長

東京都中央区協働推進会議会長

公益財団法人日本学校保健会評議員

専攻分野 公衆衛生学、衛生学、保健福祉論、権利擁護論、ボランティア・市民活動論

日時 2022年10月29日（土）14：00～16：30

会場 Zoomによるオンライン研修

参加費 無料

定員 50名 ※定員を超えた場合は茨城県社会福祉士会会員を優先します

申込み 茨城県社会福祉士会ホームページ

または QRコードから⇒⇒

締切り 2022年10月15日（土）

* 申込み者には、EメールでZoom入室のURL等をお送りします

